

【研究課題名】膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の長期予後に関わる臨床的背景因子の解析

【研究の背景】近年、患者数が増加している IPMN には癌化例が含まれることから、その大半が継続的画像評価対象になるために医療費を圧迫している現実があります。我々は自施設の過去およそ 15 年間の IPMN 症例を拾い上げて、長期予後に寄与する初診時の臨床背景因子を検討することで、継続評価が避けられない集団の囲い込みを目指します。

【研究の目的】IPMN の臨床経過における悪性新生物発生の危険因子を解明すること

【研究の対象】2010 年 3 月から 2023 年 2 月までに当院通院歴を有する IPMN 患者さん

【研究の方法】新たな採血や内視鏡検査などの侵襲を一切行うことがない単施設の後ろ向き観察研究です。この研究では、原疾患（もとの病気のこと）およびそれに関連する膵臓の腫瘍の有無に関する状況を調べます。患者さんの医療費負担額が多くなることは一切ありません。

なお、本研究は当院の医の倫理委員会で承認された日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で実施します。

【研究に用いる試料や情報の種類】年齢、性別、IPMN 診断日、IPMN 最終受診日、IPMN 関連新生物初回確認日、病型、部位、最大主膵管径、最大腫瘍径、隔壁結節構造の有無、腫瘍増大率、血清腫瘍マーカー（CA19-9、CEA）病理組織検査所見

【倫理的な配慮】プライバシー確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で研究解析を行います。また、研究結果を公表する際にも、患者さん個人が特定されることは絶対にありません。

【本研究に関する問い合わせ先】本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出て下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで申し出て下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

1) 研究責任医師

守屋 圭 奈良県総合医療センター消化器内科 部長

2) 研究分担医師

永松 晋作 奈良県総合医療センター消化器内科（胆道膵臓領域部長）

松浦 恭平 奈良県総合医療センター消化器内科 医員

電話 0742-46-6001